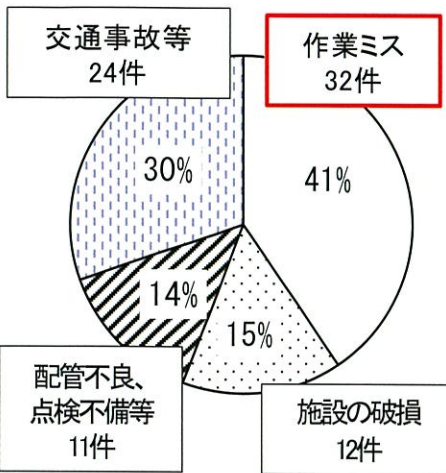


油流出事故を防ぎましょう！

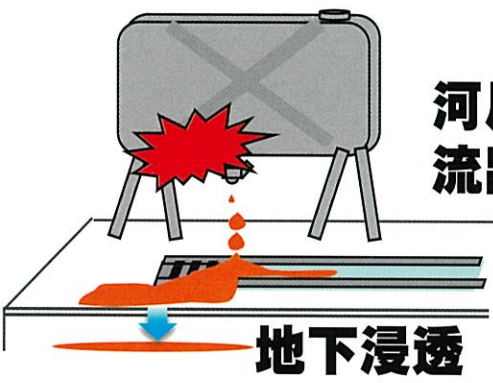
作業ミスによる油流出

重油のタンクや配管などから油が漏れ出す事故が**多発**しています。

原因の多くはバルブの締め忘れや機械の操作ミスなどの「**作業ミス**」です！



油流出事故の原因(過去3年間分)
(原因が不明の43件を除く。)



水道や井戸水、農業用水が汚れてしまうかも！



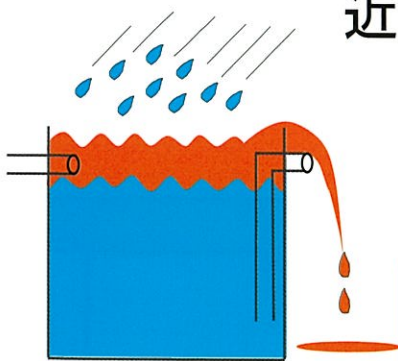
- ☑ 作業ミスを防ぐため、バルブなどへの注意書きの掲示、チェックリストによる作業手順の確認・徹底などに取り組みましょう。
- ☑ タンクや配管に腐食や亀裂がないか点検しましょう。また、こまめに油の消費量をチェックしましょう。
- ☑ 防油堤の設置や土のう、吸着マットの準備、緊急連絡網や事故対応マニュアルの整備など、万が一に備えましょう。
- ☑ 除雪作業や掘削工事を行うときは、事前にタンクや配管の場所を確認しましょう。

大雨による油流出

近年では、大雨による事故も増えています。

☆油水分離槽が**オーバーフロー**

☆地下室の油タンクが**冠水**



油水分離槽



- ☑ 定期的にグリストラップや排水溝を清掃しましょう。
- ☑ 油水分離槽の定期的な清掃や地下設備への浸水防止対策など、大雨による事故に備えましょう。

万一、油流出事故を起こした場合は・・・

早急に

応急措置と関係機関への連絡を必ずお願いします！

応急措置

<漏えいや流出の拡大の防止>

- ① バルブを閉める、遮断弁を閉じる。
- ② 土のうを積む。
- ③ 関連施設を緊急停止し、油の拡散を防ぐ。



<汚染や被害の拡大の防止>

- ① 水路や河川にオイルフェンスを張る。
- ② 吸着マットやおがくずで回収する。古布等で拭き取る。
- ③ 油で汚れた土壌を取り除く。

**油処理剤は使用
しないでください！**

※ 油処理剤は油を分解するものではありません。河川等へ流れると水質汚濁の原因となります。

連絡内容

- ① 発生・発見の日時・場所
(住所、事業所名、流出した河川名など)
- ② 事故の内容 (原因、油の種類など)
- ③ 規模(漏えい量など)
- ④ 被害状況と影響範囲
(河川の下流、土壌への浸透など)
- ⑤ 講じた応急措置の内容



パッコちゃん

連絡先

環境の関係機関

富山県環境保全課 076-444-3146
市町村環境関係課

危険物(油類など)の関係機関

消防署 119

河川や海の管理者などの関係機関

国土交通省富山河川国道事務所 076-443-4765
国土交通省黒部河川事務所 0765-52-4687
伏木海上保安部 0766-45-0118
富山県河川課 076-444-3323

水質汚濁事故対策ハンディマニュアル第2版(原因者の対応)

県ウェブサイトに掲載していますので、工場・事業場に備え付けるなどご活用ください。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00010320.html

マニュアル